

# 在宅で 生きる

vol. 27

2月号

2017.2.1.

練馬区 地域医療担当部  
地域医療課 医療連携担当係  
TEL:03-5984-4673

## 特集 データから見る練馬区の在宅療養

### ◆ 「自宅看取り」割合の推移

区では平成25年度に医療と介護の関係者からなる在宅療養推進協議会を立ち上げ、在宅療養の推進のため、様々な事業を実施しています。

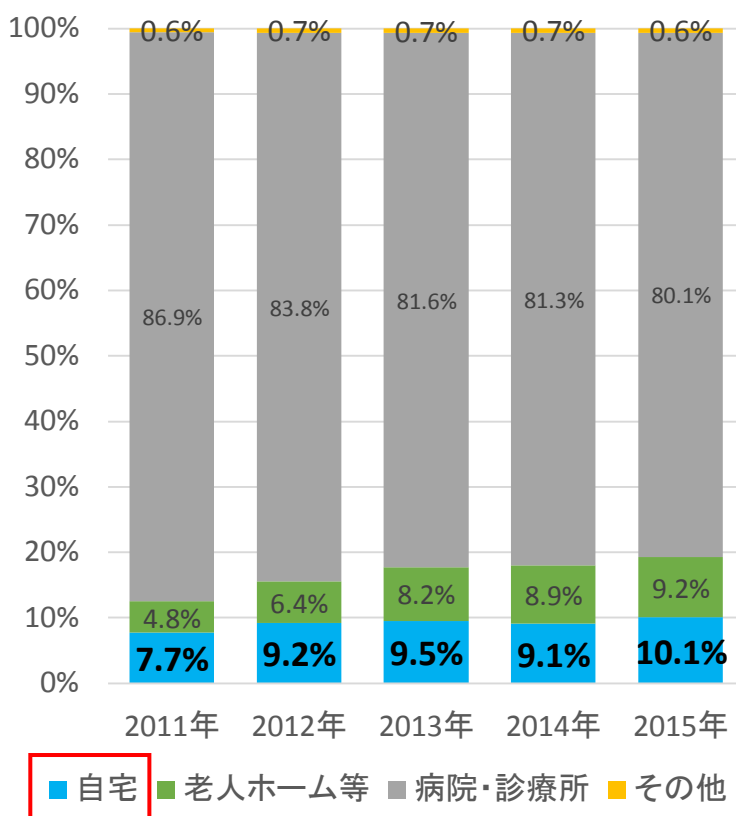
今後の更なる施策の検討のためには、在宅療養の需要に対して、訪問診療等の在宅医療サービスを提供する資源がどの程度あるのか、その需要と供給バランスを把握することが重要です。

今回は、在宅療養の量的傾向を示すうえで重要な指標である、自宅で最期まで診療を行う「自宅看取り」の数を、調査しました。

死亡場所の内訳として最も多かったのが病院で全体の約8割、次いで自宅が約1割、その他老人ホーム等が約1割という結果でした。

自宅看取りの割合は約1割ですが、割合はここ5年間で増加傾向にあることが見て取れます。

練馬区民の年次別死亡場所割合の推移



# ◆ 2025年、自宅看取り数は現在の約2倍に増加

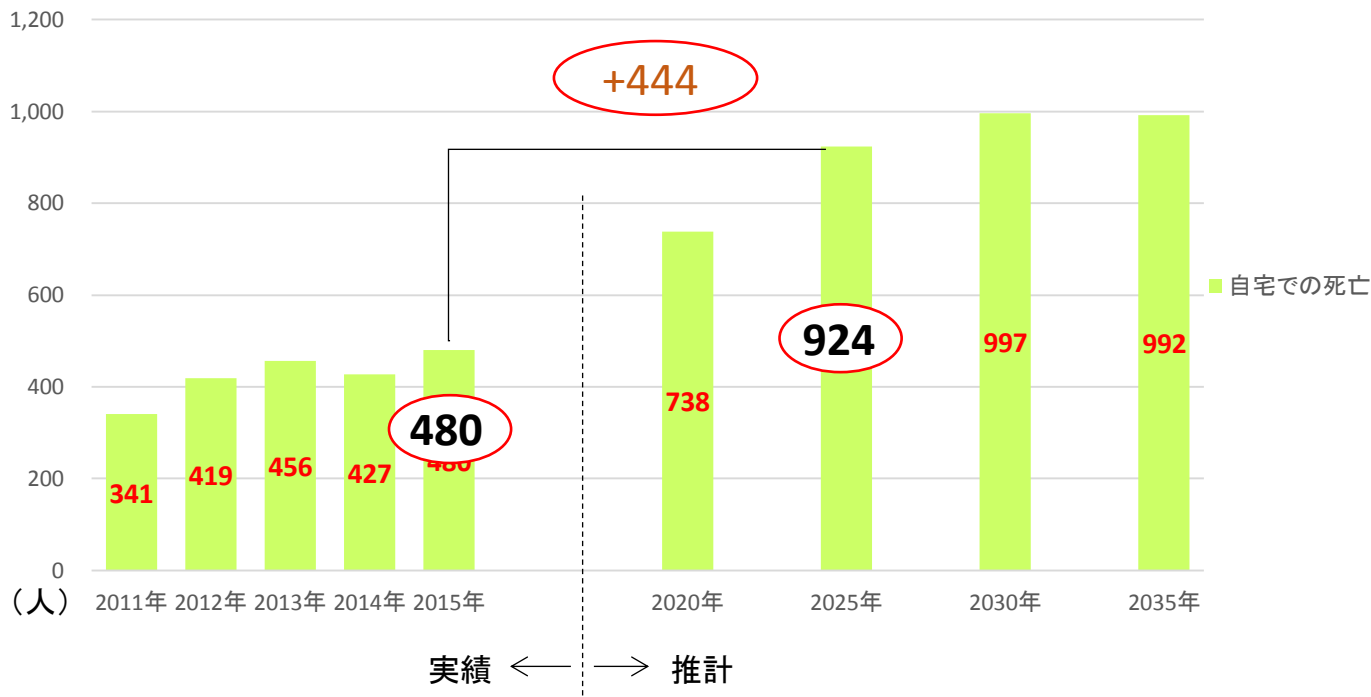
自宅看取り件数についてもここ5年間で増加傾向にあります。下の図の2011年～2015年の自宅看取り数実績を見てみると、この5年間で139件増加しています。

ここ5年間の死亡（看取り）場所の傾向を基に、2035年までの自宅看取り数を推計すると、団塊の世代が全員75歳以上となる2025年には、自宅看取り数が2015年の約2倍（924件）にまで増加することが予想されます。

在宅療養が普及しつつあるとはいえ、現時点での在宅医療の供給量（自宅看取り実績480件）では、これらの将来需要（924件）を賄えないことから、より一層の在宅医の確保や介護サービスの充実等が求められます。



### 自宅看取り数の実績および将来的な推計



区では平成25年度より、様々な事業を通じて在宅療養の推進に取り組んできました。

この5年間に於いて自宅看取り数・率は増加傾向にあり、これまでの取組によって、在宅療養という選択が少しずつ普及しつつあると考えられます。一方で、将来的に自宅で看取られる方の推計数が高まり、在宅療養環境の整備が求められているともいえます。

区はこれからも引き続き、医療・介護等関係者による「在宅療養推進協議会」を中心として課題解決に向けた検討を進め、区民の皆様が安心して在宅療養生活を送ることができる環境づくりに努めてまいります。